

小山市立博物館 博物館だより

2016
3.15

62

第66回企画展

戦国時代の小山



平成28年4月23日（土）～ 5月29日（日）

戦国時代は、各地に割拠した戦国大名ら群雄が、存亡をかけて戦いを繰り広げた時代です。現在の小山市でも、平安時代から続く名家である小山氏が、祇園城（現在の城山公園周辺）を本拠として、動乱の時代を切り抜けるために様々な活動を行っていました。今回の展示は、小山市域における戦国時代の諸様相について、考えようとするものです。小山氏や結城氏など、この地を治めた大名家の攻防や苦悩、当時の文化や人々の祈りなどをおして戦国の世を垣間見ていただき、郷土小山の歴史に触れていただきます。

休館日 4/25(月)、5/2(月)・6(金)・9(月)・16(月)・23(月)・27(金)
開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
入場料 大人200円(100円)、大高生100円(50円)、中学生以下無料
 ※()内は20名以上の団体料金 5/18(水)国際博物館の日は無料

関連事業 ※要申込

●記念講演会「戦国期下野小山氏の生き残り戦略」

講師 栃木県立文書館古文書専門員 荒川善夫氏
 5/15(日)13時30分～15時 当館視聴覚室 定員50名(無料)

●甲冑試着体験(大人用・子供用あり 但し1組大人2名、子供3名まで)

5/1(日)、22(日) ①13:30 ②14:00 ③14:30 ④15:00 ⑤15:30(無料)

※申し込みはいずれも4/12(火)から電話で、先着順(TEL.0285-45-5331)

第65回企画展

「小山歳時記～くらしと年中行事」を終えて

今秋は、小山で伝承されてきた年中行事をテーマに、平成27年10月24日から翌平成28年1月10日に企画展を開催しました。人々のくらしと共にあった多くの年中行事を知っていただき、先人がそこに込めたさまざまな思いや願いをあらためて見直していただくことで、地域の貴重な無形文化財である年中行事を見直す機会にしたいという趣旨で企画したものです。関連資料の展示とともに、現在では珍しくなった“鍬入り”、“コトヨウカ”、盆の“盆棚”などは、その様子を再現展示で見えていただき、年中行事の特徴である行事食についても、料理のレプリカを製作し紹介しました。

体験コーナーでは、“小正月のツクリモノ”、“十五夜のワラデッポウ”などを手に取って見ることができ、白い粘土をマユダマダンゴに見立て、来館者にダンゴを作って枝にさして飾るという小正月の行事も体験していただきました。体験コーナーは特に家族連れに好評で、マユダマダンゴはいつも枝に豊作の状態でした。展示室の方では年配の方が、かつて担い手となっていた年中行事の展示を見ながら、思い出話に花を咲かせる様子が度々見られ、身近な伝承文化を改めて見直し、その意味を再認識する機会としていただけたようです。



展示風景



三二門松作り教室

* 関連講座 *

「年中行事体験もちつき」12/20 参加者10名
「三二門松作り教室」12/26 参加者23名

体育館、教室、森の中、川の中へも出前いたします

出前授業「地域学習」について

現在、学校教育の現場では地域との結びつきをさらに強めて「開かれた学校づくり」を目指しています。そのような流れを受けて、近年博物館に「(地域の) ～～についての授業をお願いします」という依頼が寄せられるようになりました。今回は地域学習の授業についてスポットを当てて紹介します。



城山公園にて公孫樹の伝説の解説

○平成27年度に実施した授業

1 パワーポイントでの講義

(社会科)・寒川の歴史・御城の歴史
・高橋房次・小山用水・生井の水害
(理科)・遊水地の自然

2 フィールドワーク

(社会科)・城攻め体験(鷲城)～外城2号墳見学
・小山評定跡～祇園城～天翁院見学
(理科)・地層観察・思川のサケの遡上見学・野鳥観察



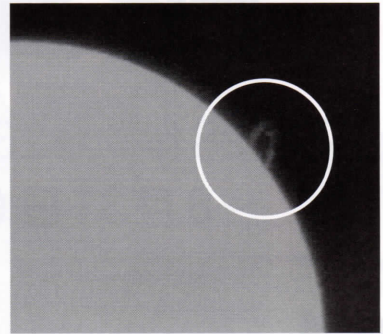
思川にてサケの遡上の解説

毎日見慣れている風景にさまざまな歴史や自然のドラマがあると知ることは、子どもたちだけでなく教職員の方々にもとてもよい機会になっているようです。「とても勉強になった」「話が聞けてよかった」「さらに知りたい」という感想をたくさんいただきました。また、我々も地元ならではのレアな情報を伺い、勉強になりました。これをきっかけに我々も含めて自分の住んでいるところへの愛情や知識がさらに深まり、地域の方々とのつながりが広がっていくことを願っています。

平成28年度前期 観望会の見どころ

毎月第2土曜日に定例観望会を開催しています。昼間は博物館駐車場で太陽観測を行い、夜は生井公民館で季節ごとに見られる星座や星の観測を行います。今年の4月～8月の夜空の見どころは、「火星」「木星」「土星」です。それぞれ見応えのある惑星ですが、6月～7月にかけては、なんとこの3惑星が一度に見ることができるようになります。

特に火星は、5月31日に2年ぶりに地球に最接近します。2016年の火星は、さそり座α星のアンタレスの近くに輝くため、両者が赤い色を競い合うようすも見逃せません。また、星座としては、「しし座」「おとめ座」「はくちょう座」「夏の大三角」などが夜空に大きく現れます。はくちょう座の頭の部分の星「アルビレオ」は、オレンジ色と青色の二重星です。望遠鏡でのぞいてみましょう。あまりの美しさに「わぁ！」との歓声間違いなしです。感動ものです。ぜひ多くの方々に見に来ていただきたいです。



観望会の日11時から12時30分には、博物館駐車場で「太陽観測会」を実施しています。写真は、太陽のプロミネンスです。

コラム 博物館職員雑記帳

3Kの職業？

博物館の業務は意外にキツイです。早朝から極寒の体育館で出前授業、そのまま夜間の天体観測。展示会のため無償での資料貸与をお願いしてまわり、貨物トラックに同乗して長距離移動。トラックの中でも講演会準備や原稿執筆をしています。

また、博物館の業務は意外にキタナイです。真夏に汗にまみれながら土蔵の調査、埃の積もった民具をたわしで水洗い、古文書にわいた小さな虫を取り除くのも大切な仕事です。

もちろん高給取りではありません。憧れていた学芸員の仕事って、もしや

いわゆる3K？と気づいたのは、勤めて4年目くらいだったでしょうか。

でも、事前にそうと分かっていたとしても、私は学芸員を目指したと思います。体育館で民具に眼を輝かせる小学生を見たり、企画展に来て頂いたお客さまに励ましの言葉を頂いたり。時には地域の歴史に重要な意味を持つ古文書を発見したりして、毎日飽きることがありません。

たかさんの小さなやりがいを拾い集めながら、今日も頑張っています。

(学芸員 尾上仁美)

季節の一枚

蝶の羽の色

私たちが目にする物の色は、光が反射して目に入るものである。世界一美しい蝶と言われる「モルフォ蝶」は、色素によるものでなく、羽の表面の不思議な微細構造によって作り出されている。

モルフォ蝶の表面は、微細なうろこ状の「鱗粉」で覆われていて、その鱗粉が不思議な構造をしている。先日、我が国で世界に先駆け、ナノテクを活用して、シリコン基板の上にモルフォ蝶の羽の構造を作成し、モルフォ蝶の青い色を作り出すことに成功した。また、その構造を少し変え、七色も可能だと研究を進めている。近い将来、モルフォ蝶色の車も走るかもしれない。なお、この蝶は、当博物館に所蔵されている。



(撮影 早川俊夫)

【夏季展示会予告】小山市立博物館特別展

昆虫

平成28年7月23日(土)
～8月31日(水)

現在知られている昆虫の種数は100万種を超え、これは既知の全生物(菌類や植物、他の動物など)の半数以上を占めています。特に陸上では、昆虫が圧倒的多数を占めています。しかも、100万種というのはあくまで既知の種数で、未知のものを含めると全種数は300万種を超えともいわれています。今回の展示では、このように、地球上のさまざまな環境に適応し、大繁栄を遂げ、多様性を極めた昆虫を「多様さ」「生き方の巧みさ」などの面から、あらためて観察します。

昆虫は世界中の陸地および淡水に生息しています。また、ごく一部ですが海水中に生息するものもあります。熱帯の密林、温暖な森林や山野には多数の多様な昆虫が見られますが、荒野や高山、砂漠のような厳しい環境も昆虫の生活場所となっており、昆虫がそれぞれの環境に応じた適応を示していることがわかります。昆虫が地球上に現れたのはおよそ3億5000万年から4億年前とされ、現在いる昆虫の大部分は100万年以上にすでに生存していたとされています。



(キイロスズメバチ 撮影 舞坂康一)

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
入館料 無料
休館日 7月25日(月)、8月1日(月)、
8日(月)、12日(月)、15日(月)、
22日(月)、26日(金)、29日(月)

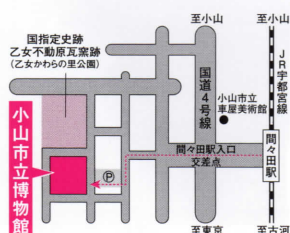
展示内容は、大きく3つになります。まずは、日本はもちろん世界中の国や地域に生息するさまざまな昆虫を展示し、昆虫の多様性について紹介します。次に、昆虫の持つ驚異の能力や不思議な特徴、生きるための工夫などを紹介し、昆虫の生き方の巧みさに迫ります。そして最後に、日本を代表する湿地である渡良瀬遊水地の昆虫を紹介します。この展示が、さまざま昆虫にあらためて目を向けるきっかけになればと考えています。

寄贈者芳名

次の方々から貴重な資料をご寄贈いただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- 光野 恒夫(小山市) 碓井要作関係資料 44点
- 岸 直美(小山市) 古地図 1点
- 柗 一也(小山市) 墨書入り日章旗・勲章 他

平成28年度「博物館友の会」会員募集中! 詳しくは博物館事務室まで



発行年月日 平成28年3月15日
発行 小山市立博物館
〒329-0214 栃木県小山市乙女1-31-7 (JR宇都宮線間々田駅西口下車徒歩10分)
電話 (0285) 45-5331 FAX (0285) 45-5247
HP <http://www.city.oyama.tochigi.jp/kyoikuiinkai/hakubutukan/>
印刷 株式会社ダイサン小山